

地方創生加速化交付金事業評価・検証シート

No	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	実 施 内 容	担当課名	事業費(円)	評価内容	目標値	実績値	評価及び今後の方針		
1	七宗ウエルカムプロジェクト	本町への移住定住者の増加を目指し、本町の知名度を向上させる取組とし、上麻生駅前や道の駅ロック・ガーデンひちそうにおいて、本町での移住PR、町の特産物販売等、町の魅力を発信するイベントを実施するとともに、既存の自然歩道を活用したトレッキングやロングトレイルイベント、「健康増進」をテーマとした「日本最古の石にふれるみち」、「中部北陸自然歩道」など景勝地や施設等を活用した観光ツアーを実施し、ICTを活用した情報発信や都市圏でのプロモーション活動を行う。 また、イベントを定期的に実施するため、道の駅内の芝生広場を雨天時でも利用可能な「全天候型広場」として整備するとともに、町の賑わい創出に向け、上麻生駅前の町有地の活用方策の検討を行う。	○七宗ウエルカム戦略策定 本町の現状・課題を踏まえ、長中期的な視点で、本町の魅力づくりとPR、移住者の受け皿づくりなどを行っていくための基本的な考え方や取組の方向性をとりまとめた戦略を策定。	企画課	4,708,800	・「道の駅」でのイベント参加者数 ・日本最古の石博物館の年間入館者数	1,000人／年 11,000人／年	800人／年 10,406人／年	【評価】 ・計画の推進に対し、町民の意見を取り入れるなど、住民が参画出来る機会を設けていく必要がある。 ・町の将来ビジョンが出来たので、推進には各事業体・各種団体を巻き込んだ活動が必要。町おこしの専門的知識を持った人材の取り込みや大学などの専門的な教育機関等との連携も検討する必要がある。 【今後】 ・町民主体のまちづくりを推進する環境整備として、意見交換会やワークショップなど町民が意見・提案をすることができる場や機会を設けていく。 また、七宗町ウエルカム協議会（仮称）を設立・運営し、まちづくり活動に参加できる機会などを積極的に設け戦略推進を効率的に行っていく。		
			○町民合意形成活動 ・町民を対象にワークショップ等を行い、自由な発想により町内の資源を活用したイベント等のアイデアを考案 ひちそう妄想会議 日 時：平成28年11月13日(日) 13:00～16:00 場 所：木の国七宗コミュニティーセンター 参加人数：49名 ・町内の小中学生を対象に意見交換会を実施 日 に ち：平成29年1月16～20日 参加人数：小学校6年生28名、中学校3年生33名		280,240						
			○モニターツアーの実施及びイベント・PRの開催 ・悠久の時を感じる飛水峡モニターツアー 名古屋駅を発着点とし、町内の観光名所を巡るツアーを開催。 平成28年11月23日（水・祝） 20名参加 平成29年2月25日（土） 20名参加 ※30歳代以下対象 ・観光PR用品の作成 町内・町外イベントの出展時等に使用するPR用品を作成。 ポスター 100枚 ・ のぼり旗 10枚 ・ 法被 10着 ・ 長机用敷布 5枚 ・ フラッグ 3枚 ・町内イベントの情報発信 3月31日の中日新聞に「七宗にウエルカム」と題して、イベント（4/16 神渚神社例大祭 ・ 5/4 赤池弁財天龍神祭）開催の広告を掲載。 ・ホームページ更新作業委託 魅力あるホームページやリアルタイムな情報発信のため町ホームページの更新作業を月3回行うよう外部業者に委託。 ・都市圏での七宗町の魅力、移住定住PR活動 JOIN移住・交流&地域おこしフェアに参加 日 時：平成29年1月15日(日) 10:00～17:00 場 所：東京ビッグサイト西2ホール ※ブースに訪れた人 7名、うち相談者数 4名		1,526,850 (365,912) (256,500) (200,000) (486,000) (218,438)				30人 10件	36人 15件	【評価】 ・イベント等でのPRや情報発信の方法について、独自性のある取組を検討する必要がある。 ・広場の活用については町内だけではなく広く公募し、目的に合ったイベントの開催が必要。 【今後】 ・積極的にイベントやフェアに参加し、PR活動を続ける。 ・レッキー広場等でのPRを行う。 ・当町に縁や関心のある人を対象にファンクラブを設立し、町の情報発信やイベント等への参加を促す。 ・ふるさと納税やクラウドファンディング等の活用により、当町に愛着を持ち応援できる仕組みを充実させていく。
			○全天候型広場の整備 町の情報発信の場として、道の駅内の芝生広場を雨天でも利用出来る全天候型多目的催事場（レッキー広場）として整備。								
			○上麻生駅前賑わい創出計画の策定 JR上麻生駅周辺の町有地を有効活用した駅前総合開発計画（案）を策定するとともに、JR上麻生駅を基点とした町営バスの持続可能な運行形態への見直し、路線網の再編検討を行った。	総務課	4,590,000				【評価】 ・町の実情や町民ニーズに沿った計画の推進が必要。 【今後】 ・開発計画（案）の検討を重ねながら本町の実情に沿った町有地の有効活用について中期的な視点で考えていく。公共交通網の再編については、駅前総合開発と連携し、本町の地域公共交通の確保・維持・改善に向けて事業を推進していく。		
				総事業費	18,735,010						